

(株)大垣共立銀行

大垣市・金融機関

平成27年度
認定

パートと正職員を選挙できる「キャリア転換制度」や、満3歳年度末まで育児休業延長、なでしこ事務局による女性の活躍推進により、育児中も働き続けながらキャリアアップを図ることができる環境を整備する。

従業員数／男性1,759名 女性1,720名 計3,479名 ※平成31年1月末現在



女性の活躍、キャリアアップに取り組む女性職員たち。

幅広い支援で女性の活躍推進

金融業・保険業

OKB大垣共立銀行は、女性の活躍を推進するため、仕事と家庭を両立するための各種施策を整備している。特に、子が3歳になる年度末まで取得可能な育児休業制度は、2018年3月末現在で227名が利用している。07年に

設立した「なでしこ事務局」では、育児のために長期職場を離れる職員の不安を解消し、円滑な職場復帰をサポートするため、託児サービス付き研修会「育児休業者のつどい」を定期的に開催。人事企画課の後藤雅典さんは「職場復帰経験のある先輩から助言を受けるなど、女性職員が横のつながりを育む場となっている」と話す。

また、子育て世代の柔軟な働き方をサポートするため、パートと正社員のどちらか自分に合った働き方が選択可能な「育児のためのキャリア転換制度」を整備。この制度は、子が小学校に入学するまでは転換前と同資格で正社員に復帰できる制度で、個々のライフステージに応じた働き方が実現されている。08年からは、支援を地域にまで広げた「Lsプロジェクト」がスタートし、女性のための商品・サービスの



和やかな職場で仕事に取り組む職員。

開発に注力。ピンクリボンキャンペーンや女性向けのイベントなども開催している。同プロジェクトの所轄也香担当部長は「女性目線で考えた商品やサービスをお届けし、地域の女性活躍を応援したい」としている。